

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	トイロ向ヶ丘遊園		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 1日		～ 2026年 1月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	2025年 10月 1日		～ 2026年 1月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	満足度：子どもは安心感をもって通所していますか、子どもは通所を楽しみにしていますか⇒とても楽しみにしている。カレンダーを楽しみに見ている。学校よりも好きようです。とのご意見をいただきました。	日々の支援内容の共有を朝礼終礼で欠かさず行っている。イベント内容はわくわくできる内容になるよう考えている。	伝達漏れが起きることもあるので、確認を徹底していく。万が一伝達漏れがあっても誠意をもって対応していく。連絡帳も活用し、日々の様子を共有していく。イベント内容はマンネリ化しないように、全員でアイデアを出していく。
2	適切な支援の提供：事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いませんか⇒外出先に変化があり本人が楽しみにしている。利用日以外も行きたいくらい楽しんでい。というご意見をいただきました。	同じイベントが頻繁に設定されないように、イベントカレンダーを作成している。人気のイベントは毎月1回開催するようにしている。お出かけや食育は土日に設定し、放課後ではできないことを考えて設定している。	何のイベントが人気なのか、他にやりたいイベントはあるか等、児童に聞いて新しいイベントを設定していく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境・体制整備：2階へ行く階段が急で危なそう。職員の方の名前が覚えきれないので名札かホームページで紹介ページがほしい。静かなスペースがほしい。	建物の構造上、階段はかなり急である。保護者にメンバー紹介の用紙を渡していない。静養室がない。	階段には手すりがついているので、必ずつかんで上り下りするように徹底、周知している。比較的小さい児童は1階で過ごすように所属をわけている。保護者向けに職員の変動があったときは、活動記録で周知していくと安心してもらえるのではないかと。構造上、静養室は難しいので、廊下などの静かなスペースでクールダウンできるようにしている。
2	満足度：支援プログラムは遊びが強いように思います。勉強面はできていないこともある。もう少し勉強する時間がとれたらありがたい。	遊びと体験重視の放デイではあるが、宿題に取り組む時間は設けている。無理強いせず、本人の取り組みを見守る体制にしている。	前提として、遊びと体験重視の放デイであることを理解していただく。その中でもできる限り宿題や勉強への取り組みをサポートしていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 トイロ向ヶ丘遊園

公表日 2026年 3月 10日

利用児童数 46

回収数 32

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	27	4	1		お弁当をテーブルを使わず食べている時がある。	机の数を確認し足りない分は発注検討。お弁当時の食べる場所を再度パートナーと確認。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	23	5		4	職員の名前が覚えられない。	メンバー変更時は活動記録で各家庭に周知していく。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	26	2	1	3	2階の階段が急で危なそう。	手すりの使用を徹底。ゆっくり移動できるように流れを把握、周知する。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25	6	1		おもちゃに汚れがあるのが気になった。	掃除の徹底。古いおもちゃや壊れている物は処分し入れ替えを行う。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26	5	1			
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	29	2		1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	27	5				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	30	1				
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	27	5				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	27	4		1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	3	12	10	機会はないが、なくても構わないと思う。	近隣の公園や生田緑地などに遊びに行く機会はあるので、地域の子ともうまく関われるように支援、見守りはしている。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	31	1				
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	31	1				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19	7	1	5		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	30	2				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25	7				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27	5				
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	22	5	3	3	バーベキューやいちご狩りは偏食なので参加できないのが残念。	保護者会のような交流会を企画しているのでぜひ参加してほしい。内容についても検討したい。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	4	1	1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30		1	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	28	2		2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27	5		2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26	3		3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	30	1		1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	28	1		2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	28	3		1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	31		1			
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	30	2				
	29	事業所の支援に満足していますか。	29	3				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		トイロ向ヶ丘遊園			公表日	2026年 3月 10日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	1	おもちゃを置く場所を変えて、部屋を広くできた。	身体を動かしたい児童が多いと狭く感じる。遊ぶスペースを仕切る必要がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	4	7		マンツーマン対応児童の利用日は職員の目が減るため人数の少なさを感ずる。対応の仕方を話し合い、工夫する必要がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	3	顔写真を用いたホワイトボードがわかりやすい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	2		食育後部屋に匂いがつく。掃除時に壁まで拭く、消臭剤を置くなど対策が必要。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	7	個室がないので、教室外の廊下スペースを静かにできる場所として活用している。	しっかりした仕切りはない。パーティションを何度か検討したが、安全面でリスクがあり導入が難しい。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	2	朝礼終礼が必ず行われ、共有がされている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1	支援参観の促しや家族支援を積極的に行っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11		朝礼、終礼、拠点長との面談、教育面談などの機会が設けられている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	4	品質管理、SV、ブロック長の評価を共有し改善につなげている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11			
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10	1		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	1	朝礼終礼で共有されている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	2		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	1		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	1		適宜個別活動ができるかは人員数による。できるときとできないときを全員で理解していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11		HUGで毎日ケア記録を入力している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	11			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11		イベントのねらいに「自己選択、自己決定する」がよく練りこまれている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	2	未回答 2	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	6		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	2	未回答 2	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	2	未回答 2	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	2	未回答 2	まだ事例がなく、今後対応が必要になる。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	5	未回答 1	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	7	未回答 1	公園でお会いする程度で交流はまだあまりない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	8	未回答 1	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	1	親子イベントなどがあり、保護者との距離は近いように感じる。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	5		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	9	2		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	1		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	2		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	8		地域との関わりはあまりないがイベントで畑の方や消防署に協力いただいたことはある。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	2		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	1	未回答 1	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	2		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	1		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	1			